

資料 4

中央教育審議会大学分科会
大学院部会専門職学位課程WG（第3回）
H22. 1. 27

実地調査及びヒアリングの実施について（状況報告）

目 的

実地調査及びヒアリング（以下「調査」という。）は、書面調査を通じて確認された特徴的な傾向や特色ある取組を、関係者への実地調査やヒアリングにより詳しく把握して、今後の審議内容を一層深めることを目的とする。

実施校選定の観点

調査の実施校の選定は、これまでのWGにおける議論を踏まえ、以下の観点から行った。

- ① 定員充足の状況について特徴的な傾向がみられる（2校）
- ② 企業等のディマンドサイドと連携した教育方法の開発や、教材開発等の状況において特色ある取組がみられる（1校）
- ③ 教員のダブルカウントに関して問題意識を持つ（2校）
- ④ 博士後期課程進学希望者に対する指導等に特色がみられる（1校）
- ⑤ 修了者の進路について問題意識を持つ（2校）
- ⑥ 実務家教員などの教員配置に特徴がみられる（1校）
- ⑦ 認証評価機関が設立されていない大学の状況（1校）

選定結果の状況

（設置形態と分野の内訳）

区 分		合計	ビジネス・MOT	会計	公共政策	公衆衛生	その他
実地調査 （5校）	国立	2	2				
	私立	2	1	1			
	株立	1					1
ヒアリング （5校）	国立	2			1	1	
	私立	3	1	1			1
	株立	0					
合 計		10	4	2	1	1	2

（地域の内訳）

区分	東北地区	関東地区	関西地区
実地調査		5	
ヒアリング	1	2	2
合 計	1	7	2

実施状況と結果報告

調査は、1月下旬～2月中旬に実施（現在3校の実地調査を終了）し、全ての調査が終了した後結果を報告する予定である。